

せせらぎ



令和元年11月22日発行 No.8

朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。2学期もあと1か月余りとなりました。

今回は、2年松組の授業の様子をお伝えします。前の時間までにかけて九九の2～7の段までを学習し、かけ算九九の成り立ちについて考えてきました。そして今日は、8の段。子供たちは、今まで習ったことを生かしながら8の段の九九に取り組んでいました。

校内研究授業 11/18 (月)

2年算数「九九をつくろう」

指導者

ねらい「既習の法則を生かして、8の段の九九の求め方を図や式、言葉で表すことができる。」

つかむ

1. 「めあて」をもとむ
2. 「見通し」をもとむ

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう

何の段まで習った？
「7の段」
8の段ってあるのかなあ？

めあて
「8の段をつくるには
どうしたらよいか。」

一つ分の数×いくつ分

一つ分が8個あれば・・・タコの足。

まずは、個人で考えました。

2人組になって自分の考えを友達に伝えました。

3～7の段で習った考え方がたくさん出てきました。

まとめ
「はんたいさくせん、前たしさくせん、合体さくせんでだせる。一つ前のこたえに+8をする。」

子供たちは、今までに習った法則を生かして、8の段の九九の求め方を図や式、言葉を使って表すことができました。

授業研究会では、「子供たちがいろいろな考え方で8の段の成り立ちを考えていた。説明も上手にできた。」という意見が出されました。

